

# TOCHIGIで輝く☆「働くウーマン」プロジェクト【栃木県】

## 地域の実情と課題

- ・本県の女性の就業率は、20代後半に比べて30代の女性の就業率が低水準となっており、出産や子育てなどを理由に離職する女性が多い。
- ・本県の雇用者に占める非正規雇用の割合は、男性に比べて女性の方が大幅に高く、女性は出産・子育て等による離職後の再就職に当たって、非正規雇用者となる場合が多い。
- ・本県における管理的職業従事者のうち、女性の占める割合が1割に満たない低い水準となっており、固定的な性別役割分担意識に基づく男性中心型雇用慣行が根強く残っている。

## 事業の特徴

- ・若年層へのキャリア形成支援、就職後の継続就労につなげるための働く女性の交流促進、キャリアアップ支援、起業へのチャレンジ支援など、女性が働くことに生きがいや喜びが持てるよう、一人ひとりの女性のライフステージに合わせた多彩な取組を実施。
- ・企業経営者、企業等で働く女性自身、企業の女性活躍を進めるためのアドバイザー、そして一般県民と様々な方を対象とした事業を展開することで、県全体で女性の活躍推進に取り組む機運の醸成を図る。

## 事業の効果

- ・企業の経営層に対し、女性活躍推進への理解促進、意識改革を図ることができ、企業における女性活躍推進の意識が醸成されたことで、女性の活躍推進を宣言した事業所数が大幅に増加し、数値目標達成につながった。
- ・働く女性のキャリアアップ及びネットワークづくりについて支援することができ、仕事に対するモチベーションの向上や異業種及び同業他社の人材交流が図られたことで、働く女性のロールモデルの量や質の向上につながった。
- ・働き方改革や女性の起業・創業など自らの希望に応じた形で職業生活と家庭生活の両立を可能にするための取組を実施したことで、多様な働き方の選択肢を提供することができた。

## 目的・目標

### 【事業目的】

県内の経済団体、金融機関、大学等と連携し、女性のキャリアアップ及び意識改革、並びに起業・創業等を支援する取組を実施することで、県内の働く女性を支援する社会的機運の醸成を図る。

### 【数値目標】

- ・本県実施の「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」事業のうち、女性の活躍推進を宣言した事業所数を平成27年度末までに50事業所にする。  
(平成27年1月末日現在 24事業所) → 平成28年3月現在 88事業所となった。

## 連携団体

- ・株式会社あしぎん総合研究所
- ・国立大学法人宇都宮大学
- ・一般社団法人栃木県銀行協会
- ・一般社団法人栃木県経営者協会
- ・公益社団法人栃木県経済同友会
- ・栃木県信用金庫協会
- ・一般社団法人栃木県中小企業診断士会
- ・栃木県中小企業団体中央会
- ・公益財団法人とちぎ男女共同参画財団
- ・一般社団法人スリーアクト

ほか

## 今後の課題

- ・社会全体の働き方と意識の改革を行うため、経営者・管理職などのトップが先頭に立って、長時間労働の是正等働き方の見直しや、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む機運の醸成を図る。
- ・連携団体をさらに広げ、オール栃木体制で女性のキャリア形成や学び直しなど、女性が様々な分野にチャレンジできる場を創出するための取組を実施する。
- ・すべての女性が個性と能力を最大限に発揮して希望する形での活躍が実現できるよう、職業生活と家庭生活の両立を図りながら、就労や起業・創業を可能とする環境整備に努める。

# TOCHIGIで輝く☆「働くウーマン」プロジェクト

様々な角度から働く女性の活躍を支援する9つの取組を実施



“女性の力”でとちぎをさらに元気に！！のスローガンのもと、経済団体や金融機関、大学等と連携して女性の活躍推進事業に取り組みました。